

第6回『夫婦の手紙』全国コンクール公開発表会

5月5日、町民総合センターで第6回「夫婦の手紙」全国コンクール公開発表会が開催されました。

当初は、松前公園内夫婦桜前広場で行う予定でしたが、あいにくの雨のため、会場を変更し開催されました。

発表会では、それぞれの手紙に込められた作者の思いを松前高3年の青野涼くん、滝川海成くん、大久保里紗さん、成田爽香さんの4人が心を込めて朗読し、会場は感動の渦にあふれていました。

なお、受賞者、受賞作品は次のとおりです。
(敬称略。受賞作品は、最優秀賞、優秀賞のみ掲載)



夫婦桜



◆最優秀賞

藤井照美(兵庫県)

◆優秀賞

土尾里香(札幌市)

◆佳作

篠原和子(東京都)

永松義敏(奈良県)

寺本寧枝(茨城県)

糸静子(福岡県)

牧アイ(札幌市)

水島弥生(奈良県)

五十嵐智子(札幌市)

岸野洋介(岡山県)

最優秀賞受賞作品

あなたに

藤井照美

あなたが旅立ってもう五年。今でも側にいるように「何してる」と声が聞こえて来そうです。原因不明のまま四十才で失明、幼かった三人の子供と途方にくれる私に「家族の誰かが失明するのなら自分で良かった」と、それからのあなたは病気を治せる鍼灸師になると、

どこまでも前向きな頑張りにも私も必死でした。自分の人生一からやり直しながらその大変さを愚痴らないあなたの生活態度、考え方にすごい人だと感服すると共にとても尊敬していました。私は「奥さんが一番大変でしょう」の言葉が一番嫌でした。いつも手引きする

私に「すまないなアありがとう」何度この言葉を聞いたことか。それに対し私からのありがとうは余りにも少なかったと今さら思うのです。
今一度一瞬でもあなたに逢えるなら、私からあなたに何百回のありがとうを伝えたい。もう一度あなたに会いたい。出来るなら生まれ変わってもう一度あなたの奥さんにしてもらえますか。

優秀賞受賞作品

感謝を込めて

土尾里香

私は神経にちよつとばかり問題を抱えている。突然、倒れたり、心臓が痛くなったり、吐き気に襲われたりする。体には異常がないのに、健康な人と同じ生活ができない。そんな私に代わって、仕事をしながら家事を手伝ってくれるあなたは大忙し。

「迷惑かけてごめんね」って謝る私に、あなたはいつも「迷惑だなんて思ったことないよ」って笑うよね。私、それ、ずっと嘘だと思ってた。だってあなたは優しいから。
でも、私、気付いたよ。もし、病気になったのがあなたで、忙しく働くのが私

の方でも、やっぱり「迷惑じゃないなあ」って。「大切な人のために何かできるなら、幸せだろうなあ」って。今はあなたのためになにもできない自分だから、深く深くそう思ったよ。
だから、もう「迷惑かけてごめんね」は言わないことにしたよ。
代わりにこう言うよ。「あなた、ありがとう」